臺灣日日新報

本日二十頁

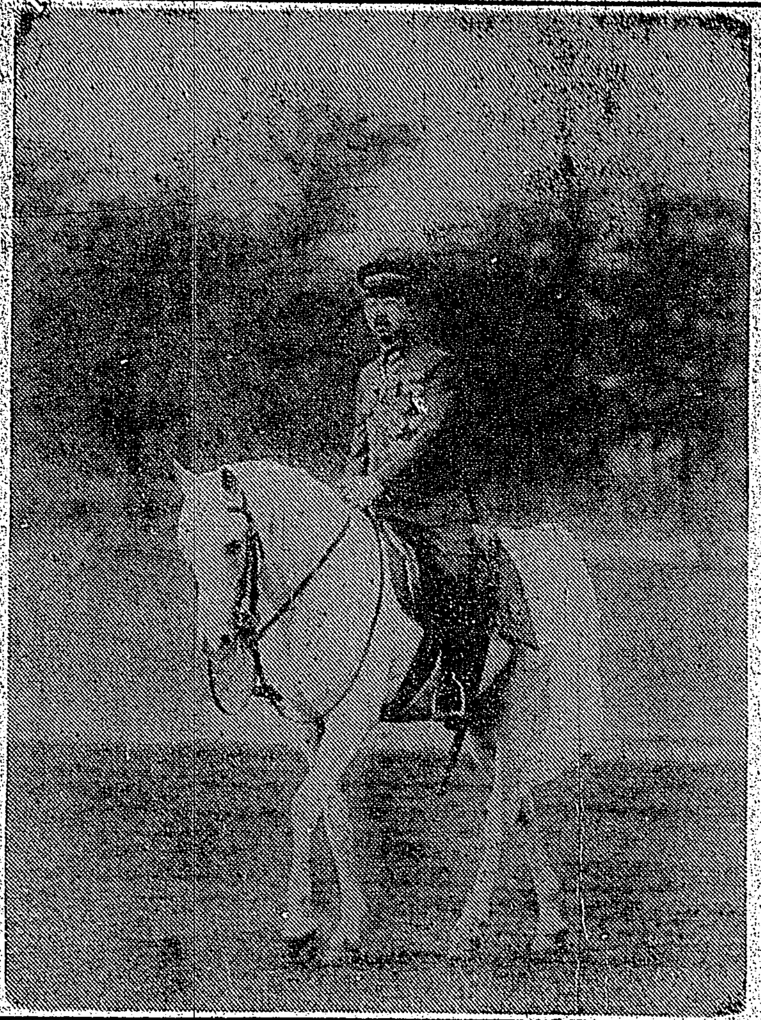
編輯兼發行人 江口治作

發行所 臺北市榮町四丁目卅貳番地 臺灣日日新報社

132578

新たなる聖紀への國民的進軍

天皇陛下御馬上の御英姿



聖戰下畏き大御心 天皇陛下の御精勵
聖壽萬歳を壽ぎ奉る

畏し寶算御四十一
御目出度き皇室の彌榮
宮内大臣謹話

確信と希望を以て國難に立ち向はん
内閣總理大臣 近衛文麿

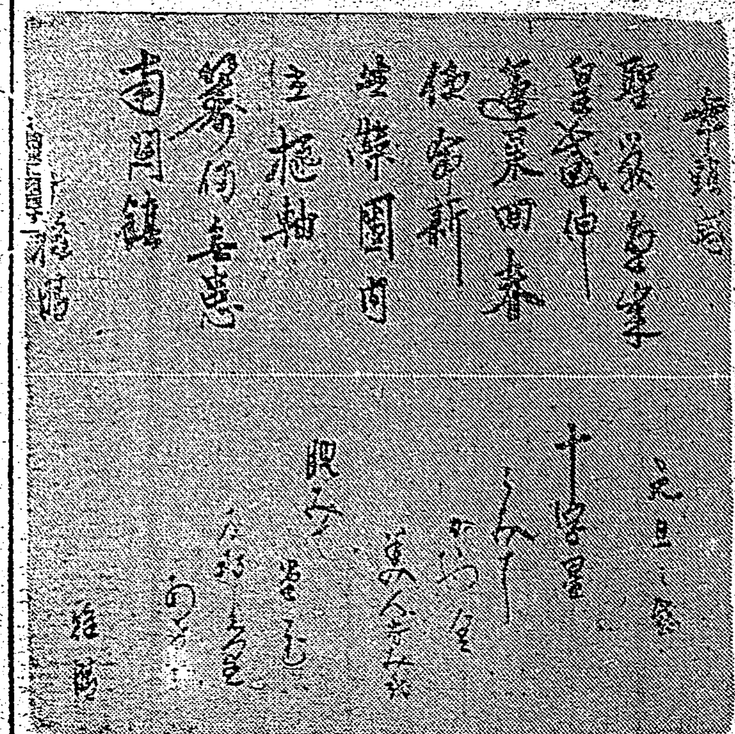
更に新しき事態へ明朗濶達邁進せん
臺灣總督 長谷川清

本間軍司令官年頭の感

年頭感

元旦の感

十字星 うみにかかやく
みんなみを
眺めて たたむ
きなしり あけて



護國の大任全うし聖慮を安んじ奉らん
陸軍大臣 東條英機

民國三十年こそ全面和平實現の秋
汪國府主席論文發表

聖業に參加の光榮 聖慮に膺へ奉らん
馬公要港部司令官 高橋伊望

官吏制度改革案 樞府本會議で可決
政府勅令公布の手續を執る

官吏制度 改正案の重點
關係勅令は四日頃公布

文官制度改正要綱

官界革新は可能
伊藤情報局總裁談

國共調停奏功せず

前線銃後協力して 輝く歴史に光彩を
支那派遣軍總司令官　西尾壽造

陝西、山西地方に
國共相剋愈々熾烈化す

大衝突惹起せん
國共兩軍頗る緊張

獨の倫敦大空襲
被害は開戰以來最大のもの

日伯文化協定成る
米の中南米制覇への中道に

對支武器援助を
米財務長官言明

海鷲成都、恩施を爆撃

二日附朝刊は休刊

南進據點我が臺灣 使命達成へ全力
總務長官　齋藤樹

人事

謹賀新年
昭和十六年元旦
臺灣日日新報社
社長　河村徹
副社長　赤石定藏
外社員一同

わが經濟力は 大盤石の强み

謹賀新年　新體制新春　臺北辯護士會員

謹賀新年　大政翼賛新春　皇紀二千六百一年

三田定則　川村直岡　木原圓次　林安繁　田端幸三郎　後宮信太郎　山下樵曹　山田政次　增田虎藏　三毛菊次郎　德方秀三　山口勝　本村泰治　廣瀨辰之助　松本晄吉　石垣康　肥後誠一郎　林脩治　平澤越郎　土居政次　松尾秀雄　山下雅實　安座上眞

千城夫　阿部定雄　池田又四郎　貝山好美　荒木正次郎　奧田四郎　藤田耕三　中辻喜次郎　小松吉久　重田榮治　高橋猪之助　中島道一　中島清吉　中島與市　村崎長昶　江原節郎　藤江醇三郎　今道定治郎　古賀達朗　齋藤政夫　谷河梅人　奧村文市　大里武八郎　井出松太郎

林熊徵　林柏壽　郭廷俊　桝木出造　田中林之助　岡山隆志　森秀雄　平田藤太郎　川本澤一　野田幸作　神木次郎　森方男　岩田鼎　佐土原吉雄　中村敬市郎　宮崎辰造　辜振甫　張園　施江南　楊漢龍　黃逢時　蔣渭川　林水田　林熀灶

盧纘祥　食鹽元賣人組合　林雙和　興南炭礦

わが經濟力は大盤石の强み

大藏大臣　河田烈

國防國家の

資金統制の

戰時經濟樞軸

臺銀頭取　水津彌吉

今年こそ緊褌一番

◇自治的統制

◇國際情勢

◇國民精神

世紀の黎明

炬火は既に燃え上る

（遞信部長佐々波外七）

「國際」

「我國」

臺灣の國土計畫

臺北帝大教授　楠井隆三

産業報國實踐へ

總督府殖産局長　松岡一衛

「食糧」

「本島」

「克服」

局鐵現况と將來への對策

運輸狀況

貨物

私鐵

バス事業

（總督府鐵道部長石川）

謹賀新體制新春

臺北辯護士會員（イロハ順）（有志）

井石陳李小小川金神吉横竹長窪安桝古呉小黄黄顯鰍蔡蔡木蕭周檜施
川堂　野山　子村江山内尾田田　見屋山　川　　澤　　村　垣
逸瑞裕　光　　　　　貞　勝　鴻　　炎啓　榮式伯長祥延　炳
正泰　三　内　太　三潤市吉景　三次良貞　隼　增　　三　十　元
直弘松漢郎績淳郎國治平德郎郎作雄麒太生瑞福郎穀汾郎安壽秀訓

臺北市榮町二丁目　辻利茶舖　三好正雄　電話七〇九四・八〇四番

臺北市榮町二ノ一　山崎醫院　山崎蓊

臺北市本町三ノ三　外科　菅野醫院　菅野尚夫　電話二五〇六番

謹賀新年　館　臺北市北門町七四　電話一一九七・一四番　次郎

臺北醫師會

臺灣齒科醫師會

臺北州齒科醫師會　基隆支部　臺北支部　蘭陽支部

臺北消防組　組長　重田榮治　第一部長　山口博正　第二部長　川西政吉　第三部長　菊入鐵吉

台北・榮町　大倉本店　電話二六五九番・四九九〇番

中央ホテル　豐川喜四郎　臺灣日日新報取次

二水信用購買利用組合　組合長　鄭換文

二水自動車商會

二水　陳如

二水　江存商店

二水　謝重

基隆料理屋組合

御旅館　日新館

雲源鐵工所

基隆市　岸田食堂

一福堂

基隆市　沖商組合

田中便利屋

林

頭圍　林朝宗

林天賜

林商會

藍文

大有商行宜蘭支店

建泰商事株式會社

蘭陽窯業株式會社

保證責任　礁溪信用購買販賣利用組合　組合長　呂天賜

礁溪庄精米組合　組合長　謝振昌

蘭陽叺株式會社

保證責任　頭圍信用購買販賣利用組合

頭圍農業倉庫

頭圍專賣品小賣人組合

頭圍庄精米組合

食鹽元賣捌人組合宜蘭支部

臺北州會議員　盧纘祥

臺北鐵道ホテル　臺南鐵道ホテル　臺灣鐵道食堂車　臺北驛構内食堂　經營者　福島篤

日本鑛業株式會社　臺灣支社　金瓜石鑛山事務所　竹東油業事務所　凍子脚油田採鑛所　湖口鑛場

臺北市本町二丁目四　株式會社　武田長兵衞商店　臺北出張所　電話長三五九一番　本店　大阪市東區道修町

臺北市大和町二丁目八番地　社團法人　臺灣土木建築協會　電話二八二五番

日本赤十字社臺灣支部

臺北市表町一丁目五拾四番地　愛國婦人會臺灣本部　電話二七八四番

南港煉瓦製造公司

南港醫院

南港興亞公司

內湖庄　郭阿海

源豐炭礦

興亞炭業公司

臺北市外松山療養所　佐藤敏

內湖庄　林懷孕

內湖庄協議會員　有吉熊次郎

安田生命　南港監督所　所長　潘炳昆

內地瓦製造工場　興亞瓦商會　鄭清池

保證責任　內湖信用購買販賣利用組合

內湖庄役場

黄傳塗

防空色瓦公司

許銀錬

新王國

帝國生命　石鎏

王建河　王東壬

帝國生命　日日新報　代理店

南港　興南炭礦

林雙和

小説 傷兵の春

日比野士朗

…病院で迎へた新年も、私には忘れられない。

「食事ー」

待ち構へたその聲が、廊下から響くと、元氣のいい負傷兵が、えらい音を立てて階段を駈け降り、炊事場の戸口に殺到した。土地のいくつかの旅館が、臨時病院にあてられてゐるのだつた。

八疊の間に、同室六名だつた。室長の私がおめでたうと言ふと、みんな一齊におめでたうと言つて…

目には、新鮮だつたし、今ごろ我が家ではどうしてゐるだらうと、ふと郷愁が胸に溢れたりした。

伊豆の海は青く、冷たい風に鷗が、白い羽をひるがへしてゐた。正月の町には出てみたものの、所在なさに、石を拾つて海に投げてみる者もあつた。

そんな散歩の歸り途には、熱帯魚のゐる池に立ち寄つてみた。熱帯魚と言ふのがゐて、姿は鮒に似てゐたが、見るから獰猛な目附きを…

と、自分でも私たちに云つてゐたどの部屋でも、何か出し物を選ばなければならなかつたが、歌一つ知らない私は、素人浪花節など嫌ひだつたので、K特務兵の浪花節が少し恨めしかつた。

「ちや仕方がない。あたしが馬子になつて唄を唄ひますからね、和尚さんともう一人で馬になつてくれるといいんだがね」

和尚さんといふのは、私の綽名だつた。白衣を着て、きちんと端坐したりすると、どこか抹香臭いと言ひ出した者がゐて、しまひには臨に遊びに來る近所の子供たちまでが、私のことを和尚さんと呼ぶ始末だつた。

私と若い一等兵とで馬になり、私の首に巻きつけた白い帯の手綱をとつたKが、舞臺を程よくひき廻しながら、…

…窓してゐた。何かやらなければならなかつた。咄嗟に、私は御詠歌を思ひ出した。それは十何年か前に、私が或る山の寺に二年餘りの月日を送つてゐた時、いつの間にか聞き覺えてしまつた歌だつた。茶碗を箸でチンチンと叩いて、私は歌つた。思ひつきが突飛だつたせゐか、兵隊はゲラゲラ笑ひ、拍手喝采だつた。

擽んで廊下に逃げ出すと、宿の女中のおふみさんが、「やつぱりほんまの和尚さんでせう」と私に言つた。

「さうだよ」

と私は答へ、自分でもにやく笑ひながら、急いで浴場に降りて行つた。

…膳を飾つた。鯛、小鯛の尾頭附き黒豆に数の子八つ頭のきんとんのついた口取り——元旦らしいものが食膳いつぱいに賑やかに並んでゐた。数の子の赤く彩つた…食卓も、この樂しい食卓にのぼつてゐた。

食事が濟むと、年始状が渡された。私のところに來たもののなかには、その年の三月に入學する長女の書いたガキも混つてゐた。「オトウサマ、オメデタウゴザイマス」

いかにもたどくしい文字だつたが、出征ちゆうに、こんな仮名が書けるやうになつたのかと思ふと、妙に胸が熱くなつた。

福笑、將棋、トランプ、追羽根——さう言つた正月の遊びも、白衣の兵隊たちを元氣にした。圍碁にのんびりと凝つてゐると、負けて顔ぢゆうまつ黒に墨を塗り立てられた片腕や片脚の兵隊が、きやつきやつと笑ひながら、とびこんで來るのも、いかにも病院の姿だつた。

私たちはまた衛生兵に連れられて、行列を作つて、門松の立ち並んでゐる伊東の町を散歩することもあつた。列のなかには、松葉杖の男もゐて、町の人々の目を惹つた。戰闘の經驗者の男や、美しい振り袖の娘の姿なども、私たちの…

…してゐた。温泉が湧く生温い池の水に棒を突つこんで暫く立てると、その鋭い目でぢつと棒を睨んで、今にも飛びかかるやうな姿勢を示しながら、黒い鱗がたん／＼赤味を帶びて來る。それが、また、白衣の兵隊たちをよろこばせた。

松の内に、一度新年演藝會をやらうぢやないか、と言ひ出したのは、私の部屋のK特務兵だつた。年は三十六だが、白髪混りの頭はひどく老けて見え、若い負傷兵たちから「お父つつぁん」といふ綽名を頂戴してゐた。負傷して、敵中を六日間彷徨し、九死に一生を得たといふ經驗の持ち主だつたが、その間にこんなに髪が白くなつた…

吟などをやつてのけて、遠慮なくお父つつぁんの面目を發揮した。

私はKが自分の隠し藝を發表したくて、こんな演藝會を目論んだのを、ちやんと見抜いてゐた。流石に彼の出演はほかの兵隊たちと較べると、一段水ぎはだつてゐたが、そのため後をつづける者がなく、一座はちよつと白け渡つたほどだつた。司會者役の〇軍曹は片腕の白衣の袖をだらりとさげて

「誰か、出んかいの？」

と、お國訛で催促してみたが、もう出る者はなかつた。

「ちや、俺が指名するでな」

さう言つたかと思ふと、〇軍曹の左手が伸びて、いきなり私に矛先を向けた。

「和尚さん、頼みます」

拍手が起つた。私はすつかり當…

蛇の玩具を手にして

病院にわが白衣の勇士を慰問した可憐な支那の幼兒たち（北支戰線〇〇陸軍病院）

羽子板を抱いて

日本娘と姑娘の親善ぶり（上海にて）

至誠御奉公申上ぐ

臺北市長 木原圓次

皇紀二千六百一年の新春を迎へ謹みて聖壽の萬歳と皇室の御繁榮を壽ぎ奉ると共に國運愈々隆盛に赴きつつあるは吾々國民として洵に慶賀に堪へざる所であります。惟ふに皇紀二千六百一年は皇國日本の誇々たる發展と崇高なる理想と崇高なる使命とを以て世紀の大轉換大革新を期すべく國家として力強く發足したのであります。今や新體制の組織は成り日、滿、支の關係は益々強化擴大され日支の基本條約は締結せられ事變處理は新段階に入り一方皇軍は第二の國境を越えて南方遠く佛領印度支那へ進駐するに至り將政權の潰滅は早に時日の問題とされて居ます。然れども英國と…

…ルマルートを再開し新嘉坡に極東軍總司令部を新設して各地駐屯軍の強化を圖りルーズベルト大統領は三選の餘勢を驅て益々英支援助を策謀し太平洋方面に海勢力を伸張せんとしてゐるやうであります。此の重大時局に際し吾々國民は我國の立場と大使命とを深く認識すると共に我が國體の精華を益々發揮し八紘一宇の大理想を顯揚すべきであると肝銘致すところであります。茲に於て本島を見まするに今や始政四十有六年この間歴代總督の經綸各般の施設は島民の一致協力と相俟つて驚異的發展の實現に向ひ躍進發展を遂げつつあると共に南進の據點として更に大たる使命を果さんとして…

元日番組

（ラジオ番組表）

二日番組

（ラジオ番組表）

謹賀興亞新年

皇紀二千六百一年

横山竹男 基隆

近江時五郎 基隆

安谷屋繁 基隆

中谷哲二 基隆

基隆市 山崎正義

川口金一

小澤重雄 基隆

大成運輸組 代表者 酒井俊次郎

辰巳宗太郎 基隆

基隆市 小島鼐三

土木建築請負業 佐藤組 佐藤治太郎

基隆 村上康三郎 中島信雄 作山泰武

基隆市 石炭商 顏赤九

土木建築請負業 志村組 志村

土木建築請負業 中川組 中川虎一

基隆土木協會 電話五九弐番

基隆市明治町壹丁目五番地 株式會社 丸一組

基隆市旭町一丁目五〇番地 詑間産業船舶部

基隆市日新町四丁目十一番地 小川商店材料部 河合莊太郎

日本通運株式會社 基隆支店

內臺通運合資會社 明比實平商店

花蓮港 藤村産婦人科醫院

東部水産株式會社

中村三雄

基隆市 顏欽賢

基隆市 顏德修

基隆市 顏德潤

基隆市 顏滄海

基隆市會議員（順序不同）

吉村善臣

梶原謙一

松村數江

臺灣歐米輸出竹材商組合

基隆華僑公會

基隆市義重町 小川商店金物部

基隆市外八堵 前田鐵工所

開南物産販賣所

基隆市食料品雜貨組合

基隆和洋雜貨業者組合

基隆市入船町 基隆工作所 電話一四〇九番

基隆 氷菓子統制組合

松上六平

金裕德商店

大審商會

基隆同業者組合聯合會

瑞芳街 宮川三二 角田文藏

州會議員 沖亮吉

臺北州會議員 小野誠一

瑞芳街協議會員

簡深淵

黃仁祥

益隆運送株式會社

裕益商事株式會社

瑞芳公醫 黃烟篆

基隆郡瑞芳 東和商行

瑞芳街 臺灣建業共營合資會社

基隆郡醫師會 會員一同

陳雨通

瑞芳街 英德醫院

瑞益隆商店

大芳商行

藤田光廣

田中一郎

山本忠雄

勝元藥房

楊森發

寶山醫院

笹村寬

李峯竹

南投自動車株式會社

池田泰藏

山下英治

南投悦舞臺

二木俊彥

南投專賣品小賣人組合

南投郡金物鐵力商組合

草屯信用販賣購買利用組合

南投郡履物商組合 組合員一同

林木

南投郡洋服商組合

南投郡製造業組合 李金江

白新登

南投信用組合

南投郡雜貨配給組合 蔡金水

南投郡時計商組合 組合員一同

南投郡荒物商組合

德勝商店

名間信用販賣購買利用組合

南投郡呉服商組合 鄭清江

五股信用購買販賣利用組合

基隆市 臺灣水産株式會社

昭和纖維工業株式會社

三河商工株式會社

基隆郡金山庄役場

周錦樹

汐止 安新商店

明玉

灘音

瑞發青果部

汐止信用販賣購買利用組合

樹林鑛業所 報國振興會々員一同

瑞穗庄役場 渡邊文吾

花蓮港廳鳳林郡 新社庄長 深城忠一

玉里郡守 大澤治重

玉里郡道路協會

新萬昌洋品店

新豐郡 醫師醫生會

新豐郡 淡藥種商組合

新豐郡 獸肉營業組合

榎本醫院

金同成商店

東亞信託會社

林藥局

劉清井

五股庄役場

山脚信用購買販賣利用組合

九州製藥工場

義成製藥會社

板橋街役場

板橋專賣品小賣人組合

板橋信用利用購買販賣組合

海山自動車株式會社

共榮商事株式會社

海山菓子製造業組合

海山郡獸肉營業組合

海山洋服商組合

海山靴商組合

海山文具商組合

郭合發産業株式會社

羅開興商行

江興發米工場

東興商會

瑞和商行

呂紅塗

潘水木

林何氏不

黃玉對

林溪圳

陳水寶

淡興發

林塗葛

聖恩に感激しつゝ遺族の誇りを堅持
雄々しく起つ"軍國の家"

軍國の家を訪ねて

飛躍する臺東地方
各種重要懸案解決近し

挺身職分に奉公
臺東廳長　藤田淳敎

臣節を完うせん
臺北州知事　川村直岡

東臺灣の新性格
花蓮港廳長　高原逸人

花蓮港近郊に漲る重工業勃興の機運

日本アルミ　東邦金屬製錬

謹賀新年　皇紀二千六百一年

三峽街長　小林勘藏

保證責任　海山郡漁業組合

三峽街茶業組合　小林勘藏

海山郡三峽街　大和木材商會

三峽米粉

三峽炭礦

金敏炭礦

保證責任　三峽信用購買販賣利用組合

陳源益商行

海山郡醫師會

三峽街　吉良一義

三峽　山上貞治

劉鉅人

三峽　傳鐘培

李陳淡

鄭金塗

成福炭礦　陳大江

三峽街　陳文溪

陳金才

新高炭礦

海山拓殖製茶公司

林源記製材工場

三峽製材組合

成福茶業組合

海山輕鐵株式會社

三峽豐殖會社

三峽專賣品小賣人組合

土木請負　簡阿財

臺北州鶯歌街　鶯歌炭業會

鶯歌街長　郜展太郎

同益礦業採炭所

德豐炭礦

昭和炭礦

大榮炭礦

協同礦業公司

大成炭礦

鄭國順

保證責任　鶯歌信用購買利用組合

大同炭礦

鶯歌產業株式會社

共益商店

東亞礦業公司

鶯歌運輸株式會社

樹林運送株式會社

保證責任　樹林信用利用組合

紅茶　山子脚茶業組合

保證責任　鶯洲信用組合

黃鑑澄

捷茂泰藥行　李坤元

東南洋服店

モダン洋服店

松星洋服店

協泰洋服店

林洋服店

伯林洋服店

大陸

勝益商店

松月食堂

大石商會

丸和精米廠

東成商會

朝陽タワシ工場

合興竹細工製造所

永美時計店

松川時計店

協興炭礦公司

和興炭礦公司

太洋社松山分店

松村自轉車店

松山纖維工業社

老舖成香舖

協興工場　山本店

アルテックス製作所　社長　稲瀬嗣太郎

保證責任　松山信用購買利用組合

世界の新情勢と機械化國防の急務

陸軍大將　吉田豐彥

高度國防と軍機械化

顧かしかりし皇紀二千六百年を送り、茲に皇國二千七世紀二千六百一年の新春を迎ふるに當り、洵しく皇軍の無窮を壽ぎ奉り、國民の隆昌を祈願する次第である。顧みれば、去年皇國大日本が事變を戰ふ三年を數へ、上に大元帥陛下の御稜威と下、忠勇義烈なる陸海軍將兵の奮戰により、史上空前の戰果を收めつゝ、更に世界情勢に一大轉換を加ふる如く……

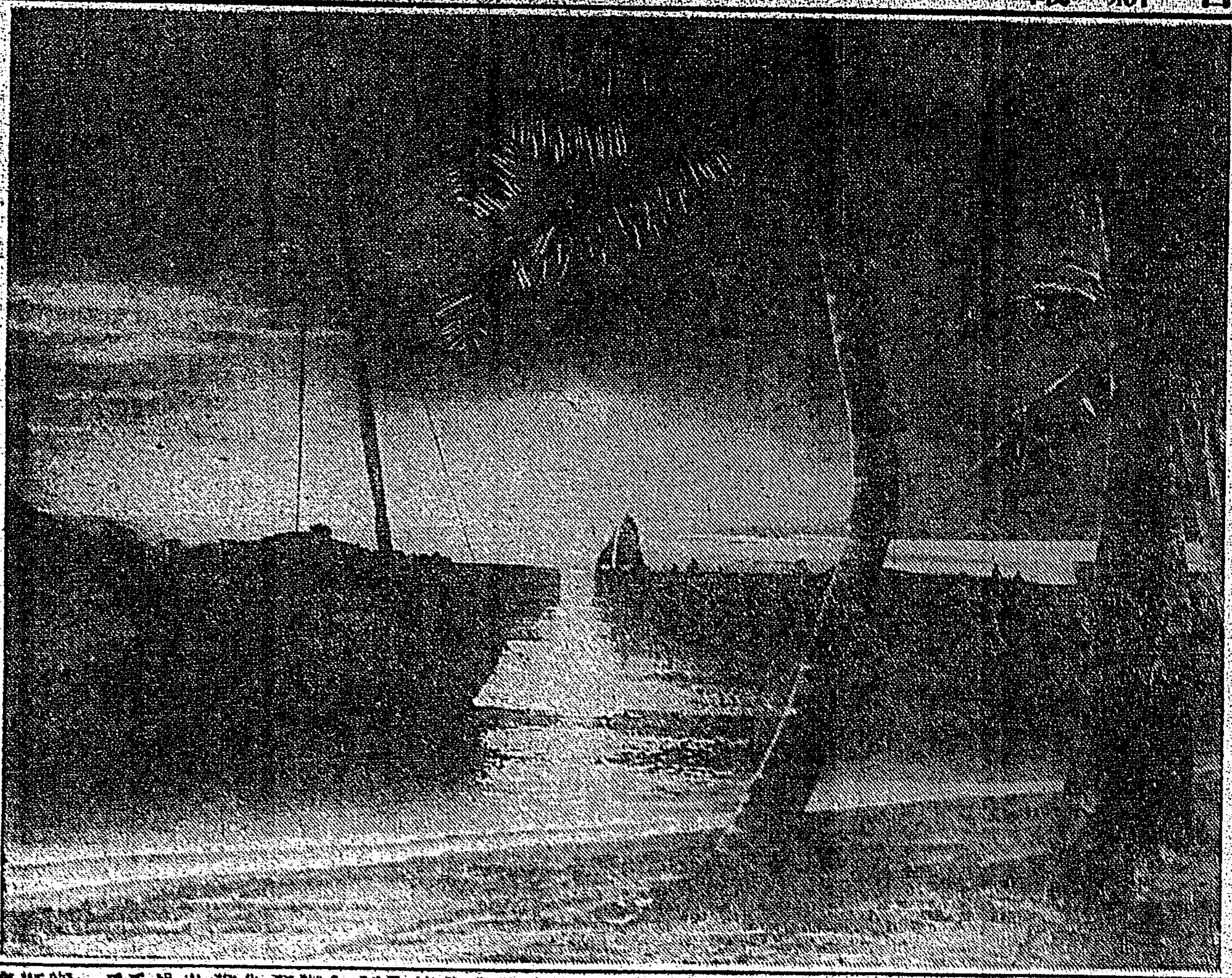
軍機械化の世界的趨勢

我國防と軍機械化

國民の技術的素質の向上

國防上重要なる工業の飛躍的發達

機械化部隊國軍の急務



漁村の曙◇――海南島にて

謹賀興亞新年

皇紀二千六百一年

宮木廣大

竹南郡守　加村政治

新竹商工會議所

新竹州食堂團

新竹交通業者團

新竹郡

新竹産業組合共和會

臺灣電氣興業株式會社

新竹市內科醫師會

新竹州藥業組合聯合會

臺灣紅茶株式會社

新竹市米穀納入組合

竹南郡各種組合聯合會

新竹州米穀商同業組合

新竹州桐材商組合

新竹新興株式會社

新竹劇場株式會社

新竹消防組　組長　吳輔兵衛

日東商船組新竹支店　日本通運新竹支店　新竹運輸株式會社

白水旅館

矢野榮治

新竹市米穀配給組合

臺灣軌道株式會社

新竹州自動車協會

新竹州木工指物協會

新竹州紙文具商組合

新竹州麥粉配給組合

新竹州砂糖卸商組合

新竹州乾物商聯合組合

新竹州金物商組合

新竹市吳服小賣商組合

新竹州土木建築協會

新竹州自動車株式會社

新竹市醫師會

新竹州寸配給組合

新竹菓子商組合

竹內文藏

清水源次郎

竹南郡

竹南郡

久野木造

新復珍商行

展南拓殖株式會社　竹南郡頭分街

黃維生

新竹州陶器荒物商組合

新竹市自轉車配給組合

新竹郡米穀納入組合

臺灣高級硝子工業株式會社

新竹州會議員（イロハ順）

范姜萍梅、原達三、西田興四郎、矢部格、太田重助、黃金廣、狄野龍五郎、渡邊國興、渡邊興一郎、鄭鴻源、吉田映馬、吉田三郎、中村安太郎、本山直枝

冨山光太郎　臺灣日日新報新竹取次店　電話三〇六番

新竹材木商聯合會

新竹州製茶同業組合

新竹表具工務所

新竹林產興業株式會社

新竹州材木商同業者組合

新竹市會議員

日新自動車商會

乘合自動車營業

鄭雅詩

許延壽

鄭神寶

鈴木壽作

新州屋

泰生堂紙店

新竹水利組合

竹南郡醫師會

林成利商行

新竹州藥業商組合聯合會

吳敏材

茶茂自動車商會

丸竹白粉

岩本桐材店　新竹出張所

吳欽漢

榮豐吳服店

松竹堂

森次郎

杉本晴藏

百福堂鐵工所

宏濟藥房

川本桐材店

新竹華僑新民公會

新竹印刷合資商會

玉川寫眞館

竹安堂藥房

隆順商行

新竹州農機具協會

東成炭礦

竹北農業倉庫

竹北運輸會社

振泰商行

捷成公司

新竹郵便局職員一同

南爲藏

陳緯經

石川泰之介

和生堂藥局

同榮商會

怡利商行

大和屋

花山商店

花盛商店

至誠堂

東成吳服店

新竹州帽子株式會社

同榮商店

朝日タイヤー工業所

中壢郡守　瀧田重勇

中壢街議會員

國際電氣通信株式會社

日本拓殖株式會社

蓬萊紙業株式會社

東洋醫院

池田醫院

佐々岡壽

木原壯一

中壢軌道會社

大和醫院

朝日亭

苗栗街役場

公館庄役場

頭屋庄長　范智遠

銅鑼庄役場

三叉庄役場

四湖庄役場

苑裡庄役場

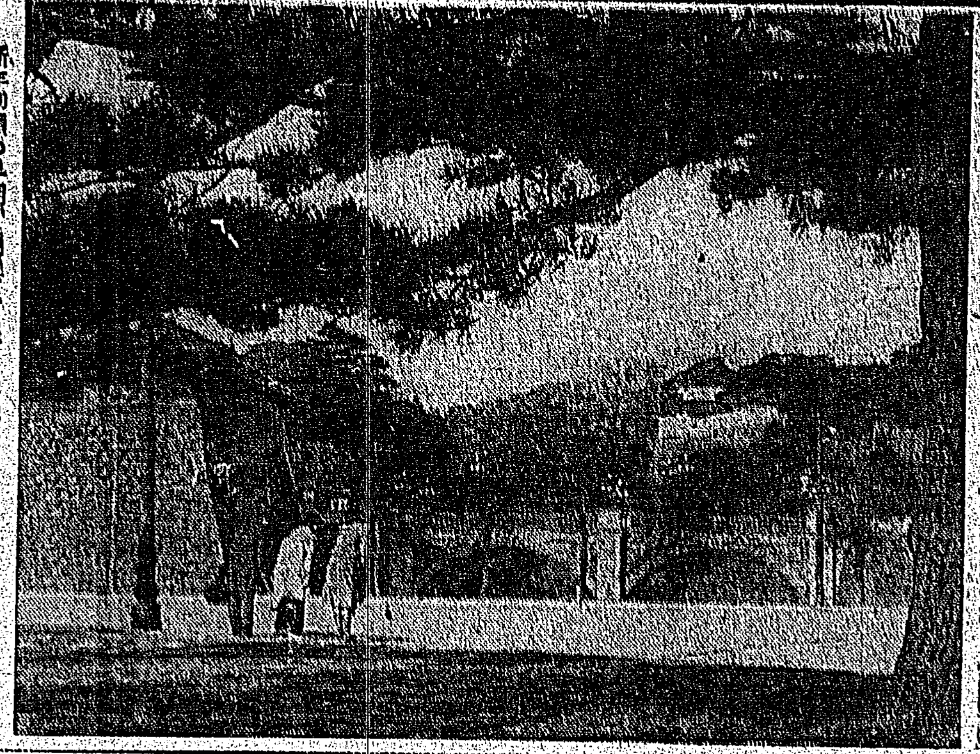
苗栗街協議會員

畏し森嚴の四方拜

輝やく日本の新しい世紀は明ける

輝やく日本の新しい世紀は明ける

畏し森嚴の四方拜
元日宮中の諸御儀



日華親善に邁進
張新任總領事着任の辭

臺灣神社で大祓の儀
古式に則り嚴かに執行

我が海運界は劃期的の飛躍
新造船舶が續々完成

帝都で市民税

空への誓は固し

安平の船溜を整備
漁業振興を企圖
臺南州で水産擴充に大童

けふの天氣

元旦は臺灣神社へ
五十銭均一
公會堂

座談會　日米戰はゞ？　①

布哇に主力を集中
三つの作戰練る米海軍

出席者

元聯合艦隊司令長官 海軍大將	山本英輔
海軍少將	匝瑳胤次
大日本國防義會理事 海軍少將	松永壽雄
海軍中佐	高瀨五郎
陸軍少佐	秋山邦雄
陸軍少佐	富永龜太郎
評論家	清澤洌
同	前原光雄

謹賀新體制新春
臺灣電力興業株式會社
戶水昇
前美好
元長庄役場職員一同

臺灣ゼニスパイプ株式會社
臺北市北門町拾壹番地
工場 臺北市興雅六五參番地

白木貿易株式會社臺北支店
支店長 關根彥一郎

光 吉元藥行
臺北市永樂町四ノ二六

新化郡安定庄共生醫院
安田宗弘（元陳連進）

株式會社 高砂鐵工所
臺北市大平町七丁目拾貳番地

赤木内科醫院
臺北市本町貳丁目
電話貳、五四九番

謹奉賀戰捷之新年
新年に際し舊年中の御愛顧御引立を感謝し併て本年も倍舊の御愛顧の程偏に奉懇願候
明るい名刺 精美堂

大新自動車株式會社

神農氏大藥房 巫世傳

大日本燃料鑛業株式會社
專務取締役 高橋忠
出張所 臺北市樺山町六八
電話 七六八二

臺灣映畫配給業組合
組合長 眞子萬里
副組合長 藤本利三郎
評議員 伊藤道三
同 角谷志一
同 金丸武德
同 廣瀨留吉
同 手島久雄
同 張孫梁

持永紙店

株式會社 大同鐵工所
臺北市宮前町一八五

臺灣木炭株式會社
臺北市幸町一八〇番地
電話 八七四四番

純良醬油
日本醬油株式會社

日新自動車商會

苗栗街役場
顧問 宇佐美信吉

朝日亭

苗栗街協議會員 森脇番允
是枝鐵夫

今年も元氣で鍛へよう

國民皆泳の大目標へ

水泳　武田義人

新體制下の國民運動

排球

意義深き年を想ふ

硬式庭球　大島康

臺灣庭球界への要望

軟式庭球

斯道の發展を祈る

籠球　大浦精一

健全なる國民養成へ

陸上競技

謹賀興亞新年
皇紀二千六百一年

宜蘭市長 鳥海剛
助役 中山義男
宜蘭郡守 眞藤雅省
宜蘭警察署長 宮崎武
宜蘭林姓追遠堂
宜蘭醫師會
宜蘭市宜蘭字長門 辯護士法學士 檜垣元一
宜蘭市 田中呉服店 電話六十一番
宜蘭市 陳金波
臺北州會議員 重藤幹一
呉服雜貨物産 大原商會
辯護士 佐藤德治
宜蘭消防組
宜蘭 深谷留三
宜蘭 野口顯宗
畔柳德四郎
宜蘭市 木村眞次
中野喜代
宜蘭座昇平座 周天姓
保證責任 宜蘭建築信用購買利用組合
壯圍庄長 板羽茂平太
宜蘭市 黃再壽
臺北州會議員 砂田鱗太郎
宜蘭自動車運輸株式會社(元宜蘭殖産株式會社)
員山庄長 門覺雄
宜蘭土木建築請負組合
臺灣煙草賣捌人組合宜蘭支部 小島仁三郎 永松道雄
林茂輝
保證責任 員山信用購買販賣利用組合
保證責任 礁溪信用購買販賣利用組合
保證責任 宜蘭信用組合
ライト寫眞館 宜蘭市 電話二〇一番

宜蘭郡米穀組合
宜蘭醤油株式會社
日本通運株式會社
臺灣運輸株式會社
宜蘭合同運輸株式會社

宜蘭市會議員
中中波田陳蘇維廖邱甘林楊黃久葉河謝李林張林呂
山野嘉中原貝井
文之唯忠國榮弘爲
鹿敏耀香燦有阿德阿長阿本阿振以天
雄助勳一岳南知堂才炎吉旺在勝澤海烈知茂士賜

友寄農場 友寄景清
保證責任 板羽茂平太
基隆市 植田サンゴ店
基隆市 今建昌商店
基隆市 伊藤壯吉
基隆市 紺家孫次
基隆 中根ヤマ
基隆市 黃添商店
基隆市 南サンゴ店
新發鐵工場
旭劇場 岡村三
石井製作所
久恒小倉堂醫院
花野直厚
川本工作所 基隆市社寮町二八 電話八五五番
基隆煉餅 臺灣餅類製造販賣組合
基隆市福德町 基隆合同精米組合
基隆洋服商組合
金生商會
中野全能

竹山郡守 本多嘉郎
竹山街長 石原雅太郎
鹿谷庄長 木寺丈一
坂本萬藏
西川健治
黃添成
林輝雄
王美木
竹山街協議會員
竹山郡醫師會
竹山信用購買販賣利用組合
社寮信用購買販賣利用組合
鹿谷信用購買販賣利用組合
竹山米穀納入組合
千代田生命保險 竹山代理店
竹山陸運組合
竹山街卸市場魚介部
富源合資會社竹山支店
竹山物産株式會社
竹山街 製材商
新盛館
二水—竹山乘合 近藤自動車株式會社
集々—竹山乘合 山陽自動車商會
竹山間 中南自動車合資會社
鹿谷間 竹山自動車商會
和豐自動車株式會社
臺中州商工業組合中央會
竹山郡藥業組合
竹山郡料理屋飲食店組合

東石郡守 水溜榮二
東石郡産業組合
保證責任
朴子信用購買販賣利用組合
朴子街協議會員
東石自動車株式會社
東石郡獸肉營業組合
東石郡産米改善協會
東石郡藥種商組合
竹山郡理髮營業組合
竹山郡山産物商組合
竹山街商業組合
竹山郡雜貨商同業組合
竹山郡砂糖小賣商組合
竹山郡野菜果物商組合
竹山郡獸肉商組合
竹山郡指物桶木商組合
竹山成戊
竹山郡麵類製造販賣組合
竹山郡呉服商同業組合
竹山郡和洋雜貨商組合
竹山郡服物荒物商組合
竹山郡菓子商同業組合
臺中州紙類同業組合
竹山郡洋服商同業組合 李水岸
竹山郡金物陶器商組合 呉木春
竹山郡時計眼鏡商工組合

保證責任 大坪信用購買販賣利用組合
斗六郡守 渡部政鬼
斗六合同運送株式會社
臺南州斗六街 圖南産業株式會社
斗六郡醫師會
保證責任 樹子脚信用購買販賣利用組合
大坪庄長 佐藤利助
保證責任 崁頭厝信用購買販賣利用組合
共榮商會
斗六街市場
斗六專賣品小賣人組合
斗六信用購買販賣利用組合
斗六街長 梅里尚德
斗六郡淡藥種商組合
斗六郡獸肉營業組合
斗六郡屑物回收物商組合
斗六消防組
古坑庄長 大岩忠正
斗六郡庄長 富澤丈三郎
斗六郡料理屋飲食店組合
斗六郡煙草耕作組合
斗六酒類賣捌人 近藤義也
世界座劇場
大和拓殖株式會社 烏塗子製糖所
基隆郡萬里庄
礦業 兩明商會 電話北基隆一〇八九ノ乙
基隆郡萬里庄役場
保證責任 萬里信用購買販賣利用組合
基隆郡萬里庄 松野榮次
保證責任 金山信用購買販賣利用組合
金山庄協議會員
萬里庄協議會員

年頭に際し

臺灣第〇〇部隊長　河原利明

航空事業振興の目標

遞信大臣　村田省藏

獨機英京襲撃の光景　クヌードゼン氏筆

護らう！我等の街を

防空課長　大越隆三

焦眉の急務なり

航空教育の普及徹底は

日高正巳

日本航空界の首途を

空の東亜共榮圏確立へ

謹賀新體制新春

淡水郡守　坂井要次郎

八里庄役場　庄長　芹澤獅吉　外職員一同

私立淡水中學校長兼私立淡水高等女學校長　有坂一世　他職員一同

淡水街役場　街長　中原薫　外職員一同

臺灣銀行淡水支店　伊藤竪藏

株式會社施合發商行　支店出張所 高雄、臺北、羅東、蘇澳、基隆、別府

淡水水利組合　組合長　坂井要次郎　理事　關口政一　外職員一同

保證責任淡水建築信用購買利用組合　組合長　多田榮吉　外役職員一同

保證責任淡江信用販賣購買利用組合　組合長　李好生　專務理事　林

株式會社大振商行　木材及貿易

株式會社老義發商行　木材商

有限責任淡水信用組合　組合長　盧阿山　專務理事　李元貴　外役職員一同

淡水胡合發合資會社　代表社員　胡幼英

新利以製造所　洪維新　外職員一同

淡水街　山林商會　材木商・坑木商　外職員一同

淡水産業株式會社　社長　洪以南　外役職員一同

三和商事株式會社　取締役社長　黄在榮　外社員一同

淡水合同運輸株式會社　取締役社長　盧阿山　外役職員一同

淡水街　一樂許

淡水海水浴場・御旅館　淡水閣　折田元彦　電話壹壹九番

小基隆信用販賣購買利用組合　組合長　盧根德

淡水街　煙草賣捌人　伊達七五三

三芝庄役場　庄長　盧根德　外職員一同

三芝共榮茶業株式會社

薪炭坑木類出荷組合　淡水郡　組合長　鄭水龍

鶴山商會　代用皮革工業所

淡水纖維工業株式會社

羅東郡守　本田武二

羅東街　波江野吉太郎

臺灣酒類賣捌人組合宜蘭支部

羅東街役場　街長　陳純精

五結庄役場　庄長　張方渡

冬山庄役場　庄長　黄元旺

冬山庄茶業組合　組合長　林元裕

羅東信用組合　組合長　藍涤淮

保證責任冬山信用販賣購買利用組合　組合長　山元賢一

保證責任羅東街五結街利澤簡信用購買販賣利用組合

羅東製材協會員一同

臺北州羅東郡羅東街竹林二三七　株式會社共進商行　材木商

日本通運羅東出張所　羅東運輸株式會社　羅東合同運輸株式會社　三宅春次

取締役社長　陳在濱　株式會社東隆商行

羅東街　許瑞發商行　許木生

羅東街竹林　林材木店　林清潭

株式會社東光商行　材木商

共益自動車株式會社　蘭陽自動車株式會社

株式會社羅東會館

羅東街　大正堂　陳清土

羅東街　練游氏阿抱

羅東佛教護國園　園長　朝枝弘宣

三和恒産株式會社

羅東郡醫師會

羅東郡藥業組合組合員一同

羅東街　劉緣

三星庄役場　庄長　野口子之吉

羅東郡三星庄茶業組合

羅東街　黒木和七

蘭陽土地建物株式會社　社長　黒木和七

羅東劇場株式會社

三星孝廉組合

保證責任三星信用利用組合

三星恒産農業組合

石門庄役場　庄長　三澤惇一　外職員一同

淡水街　盧阿山

淡水港水先人事務所　木村一夫

淡水街　林百鍊

淡水海水浴場　和樂園

徐郷　施標

羅東水産株式會社

蘭陽産業株式會社

羅東驛前自動車

臺灣製材株式會社

羅東座

江裕

玉和商事株式會社

三星自動車株式會社

林柳賓

三和商店　陳東山

羅東消防組

伊藤旅館

林益波支店

土城庄長　菊地清作

保證責任土城信用購買利用組合

土城庄茶業組合　組合長　張祥傳

双溪庄　振組炭礦　王明

双溪聯合壯丁團員一同

部隊長の徳を慕ひ 民衆が記念碑建立

麗し日本武士道の精華

東亞の黎明

第一線警備

業に親しむ

記念碑建立

重要性を加へて來た 黄大偉將軍の存在

年頭の辭

興亞院廈門聯絡部長官　太田泰治

年頭之辭

寂れゆく鼓浪嶼

事變前の俤は全く消ゆ

厦門の復興進捗し 復歸者激增の一途

財政、産業、治安とも 着々堅實なあゆみ

謹賀新年　皇紀二千六百一年

臺中州知事　奥田達郎

臺中市長　藤田正義

臺中市助役　吉津新藏

大屯郡守　吉森八郎

臺中市　板垣德太郎

臺中市　本山文平

臺中市　坂本信道

臺中市　田邊誠一郎

臺中市　入佐藤次郎

川崎天類

大屯郡西屯庄役場

臺中州芭蕉信用販賣組合

臺灣畜產興業株式會社臺中出張所

臺中大屯水利組合

臺灣野蠶株式會社

臺中資源更生株式會社

保證責任臺中興業信用組合

臺中建築信用購買利用組合

臺中州自動車協會

浜花旅館

御旅館 千代乃家

御旅館 碧樓

臺中時計商組合

臺中市醫師會

臺中吳服商組合

臺中商工會議所

臺中雜貨商組合

臺中市材木商組合

臺中市榮町四丁目一番地　株式會社　臺中座

臺中州胡麻落花生加工業組合

臺灣青果業組合聯合會

豐榮水利組合

禎祥拓殖株式會社

大東信託株式會社

臺中州青果同業組合　組長　藤垣敬治

臺中二一會

臺中土木建築請負業組合

員林郡守　神田利吉

員林郡下保甲聯合會長

員林郡　埔鹽庄協議會員（順序不同）

芭蕉栽培　中村青果公司

保證責任員林郡埔鹽信用購買販賣利用組合

王賢德

員林郡　賴大河

保證責任員林郡溪湖信用購買販賣利用組合

保證責任員林郡坡心信用販賣購買利用組合

保證責任員林郡大村信用購買販賣利用組合

員林郡莫蓙商組合

員林市制期成同盟會

員林郡醫師會

員林郡永靖庄區總代

員林郡永靖庄農業組合

員林郡大村庄農業組合

陳阿廷

八堡圳水利組合

高林

臺中州海產物問屋組合

員林郡運輸業組合

古屋義輝

北斗街役場

二林街役場

溪州庄役場

北斗水利組合

田尾信用販賣購買利用組合

二林信用販賣購買利用組合

溪州製糖所　所長　守田龍生

沙山庄役場

大城庄役場

竹塘庄役場

埤頭庄役場

田尾庄役場

北斗郡消費米組合

北斗郡穀米納入組合

北斗活版社

北斗生財農場

張清風

陳建上

源發商行

北斗郡醫師會

永和煉瓦工場

余德煌寫眞館

彭如勳

北斗郡棉布商同業組合
北斗郡藥種商同業組合
北斗郡薪炭小賣商組合
北斗郡時計商同業組合
北斗郡金物商同業組合
北斗郡穀肥糖粉商組合
北斗郡獸肉商同業組合
北斗郡和洋雜貨商組合
北斗郡材木商同業組合
北斗郡履物小賣商組合
北斗郡食料品小賣商組合
北斗郡賣藥商同業組合
北斗郡菓子小賣商同業組合

保證責任溪州竹塘信用販賣購買利用組合

田川益雄

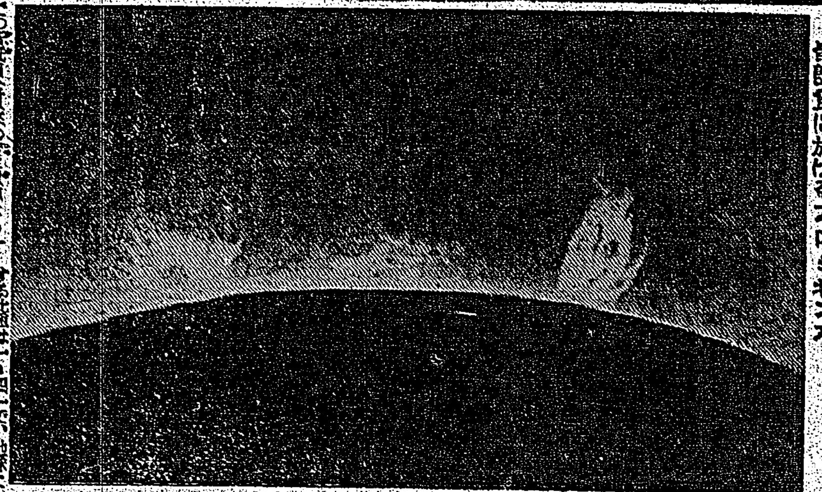
陳文招

埤頭信用販賣購買組合

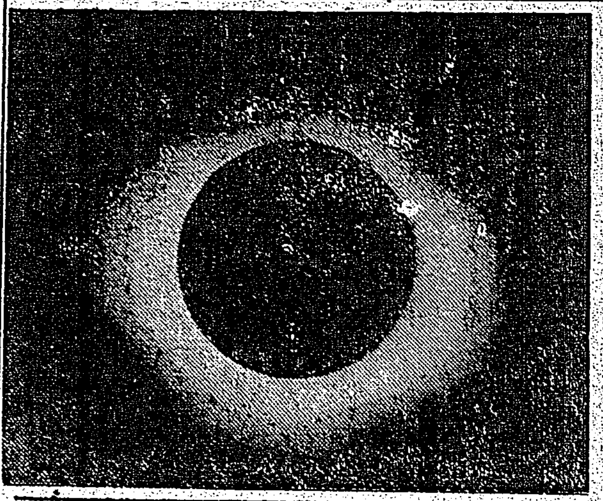
北斗郡 鋳力銅工業組合

科学

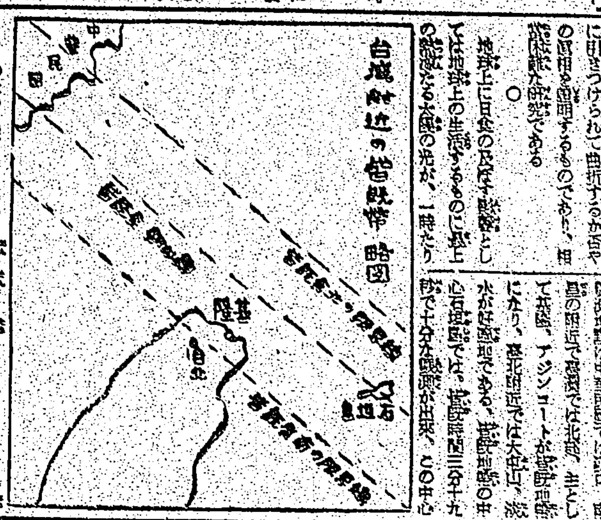
北臺灣から見える 皆既日食の壯觀
宇宙美の極致コロナ



皆既食に於けるプロミネンス



コロナの美觀



魚族と特有な匂
大群をなして泳ぐわけは？

謹賀新春
大政翼贊
皇紀二千六百一年

臺南 一番ケ瀬佳雄
臺南 伊藤完二
臺南 岡出幸生
臺南市長 那須重德
若槻道隆

臺南商友會
近藤商會臺南支店
西村商會臺南支店
辰馬商會臺南支店
越智商會臺南支店
宅商會臺南支店

臺南市清水町三ノ六 住吉組 中井清枝

臺南驛運輸組合員一同

臺南州食堂會員一同

本田乙之進
板垣四十六郎
後藤義光
西村寛司
井上千代司
大森丈之助

臺南商工會議所

バルカーパッキング發賣元 合資會社 臺灣バルカー工業所 臺南市明治町三丁目八十九番 臺北市大和町二丁目八〇九番

やまと莊主 脇本素堂 臺南銀座通

公認 臺南州自動車協會 臺南自動車講習所

臺南市 竹内八和太

臺灣皮革販賣株式會社臺南出張所

臺南合同青果株式會社 專務取締役社長 陳金象

臺灣物產株式會社

臺南和洋雜貨商組合

臺南市 宮古座 映畫劇場

御旅館 四春園

鶯 臺南市花園町一丁目 電話四〇九番

臺南州新營郡新營街 鹽水港製糖株式會社 取締役社長 岡田幸三郎

臺灣商業學院 院長 石橋慧空

臺南市三分子一四七 東亞化學工業株式會社

臺南市鹽埕六番地 南台資源統制株式會社

臺南市魚市場仲買人組合

臺南州會議員
和田二三松
中辻長司
栗山新造
喜多收一郎
芝沼榮作
川八百藏
山壽太郎
劉清井

新豐郡下各庄長
黃吉
王進吉
楊進
楊生
陳雄
謝市
松德庄長 高木榮
歸仁庄長 川島宗
關廟庄長 原亮
龍崎庄長 佐藤自義
永康庄長 秋永佐
安順庄長 上信則
允義得建財監請

新豐郡守 山下若松
庶務課長 佐藤八重治
勸業課長 伊藤麟良
警察課長 田尻英二

臺灣製鹽株式會社 社長 中野友禮
大日本鹽業株式會社 安平出張所 所長 出澤鬼久太

臺南州業態別聯合組合會

臺南 あけぼの 電話七六番

嘉義郡庄長
水上 畑山丑藏
民雄 安部俊亮
新巷 瀧野平四郎
溪口 張雄
大林 木村雄
小梅 片多勝
竹崎 江頭秀早
番路 金子政雄
中埔 松幸三郎
大埔 森田鐵太移
孝

嘉義市會議員
伊見常夫
岩淵文吉
井出和雄
梅福獅
陳文財
林金樹
大邊三郎
渡木剛
管秀郎
中山太一
梅田孝邦
江口利郎
喜多市子
許幸太貴
朱兵三
謝榮
施捷莊
新天三
鐘八州吉
鈴家木茂成德

嘉義市立學校長一同

森清吉
井原武平
角田喜聽
三井四郎
大野傳藏

嘉義醫院長 苗加寛三
嘉義 平間惣三郎
嘉義 竹中憲二
嘉義 中松乙彦

諸機械及工具用品 鑄鋼製品販賣 倉吉田商店

臺灣南部無盡株式會社 社長 栗山新造

臺灣產業組合協會臺南州支會

臺南乘合自動車株式會社

臺南州自動車運輸株式會社

臺南大舞臺株式會社 直營 國風劇場

臺南州會議員 勝田素章
臺南州會議員 永松完
臺南州會議員 津久井半二郎
臺南州會議員 白井一
臺南州會議員 大津義人
臺南州會議員 徐乃庚
臺南州會議員 林木根

大福醫院 陳大福
北斗 興亞商會 謝元見
北斗證券社
北斗ホテル
日乃出館
合順食料品部
埤頭製縄工場
北斗 露店組合
四方醫院
日本モーター商會
鹽水街長 伊藤鎭三
白沙庄長 五十里子之作
柳營庄長 宮川卯之助
番社庄長 小平晃
臺南 山本謙
株式會社 櫻桔社 入江俊明
帝國生命保險株式會社 幕内菊太郎
臺南 黃欣
公證人 菅元生
臺南市醫師會 會長 黃火金
本村洋品店
稻井繁

天眞堂醫院 勝田功夫
嘉義 廣田美津
電氣館
加土印刷所
嘉義 吉田ハル
丸三藥房
嘉義市 向生醫院

北斗信用購買販賣利用組合
土木請負 劉正 北斗組
北斗郡製飴業組合
林伯楷
邱垂通
吳良銀 吳經義
北斗張協銘
北斗郡豆腐類製造販賣組合
北斗郡組合員一同
臺中州畜產會北斗郡支會
沙鹿街役場
沙鹿商工會
沙鹿信用購買販賣利用組合

臺南州米穀商同業組合
臺南州消費米配給組合
臺南專賣品販賣業者組合

臺南市會議員一同

臺南市產業組合一同

臺南製麻株式會社 臺南市三分子

臺南市銀座通り 株式會社 小出商行 電話一二八二・三四三番
和洋雜貨 小間物類 食料品 高等文具 運動用品 食堂部

臺南市銀座通り ハヤシ百貨店 電話六一〇・六一七番

臺南 世界館 ◎元旦・貳日・參日連續四回 毎日連續皆樣の…… 午前十時開館興行 電話一一四六番

科學振興の爲に
本年の科學界に望むもの（上）
理學博士　藤岡由夫

事變は愈々第五年に入つて物資の問題は漸く深刻味を加へ來り、一方ドイツの電撃作戦の華々しかつた事にも眼をひかれて、近頃は科學の振興が刻下の急務として取り上げられて居る。人は本當に必要に迫られた時に眞面目に考慮するものであるから、此の際我國の科學の振興の方策も根本的に攻究すべきであると信ずる。

科學の振興と言へば、科學者と技術者の一部に限られた問題の様にも一應は考へられよう。併し實際は我國の科學を盛にする事は決して科學者だけの力で出來る事ではない。全國民がその氣になつて、國民全般の科學的水準が高まつてこそ、科學の發達も期せられるのである。

×　×

今日の時局に於いて科學を振興するのに何が一番必要であるかと言へば、それは勿論國家に重要な方面の研究を振興する事である。國防上或は產業上我國に必要と思はれる方面に技術者研究者を動員し、金も資材も集めて成果を促進する事は刻下の急務である。新聞紙の傳へる所によると、技術院科學院の設立が計畫されて居る由であるが、之は此の様な必要に應じての立案と信ずる。

併し、ただ必要な方面の科學の發達が、單に必要と思はれる事にだけ力を入れれば期せられるかと言へば、之は必らずしもさうは行かない。昔から科學の進歩が思ひがけない方面に應用を齎す例は澤山ある。……必要な科學を發達させる爲には基礎的科學の充實が急務である。

基礎的研究の充實がなくて應用だけに力を入れる事は、……一時はよくても決して永續きのしないものである。

基礎的研究といふものはすぐには目に見える成果があがらないものであるから、今日の様な時局の下では……、併し現在の我が國力を以てしたならば……研究を充實させるだけの力は、十分あると信ずる次第である。

×　×

次に科學振興の爲に必要なのは科學教育の徹底である。科學教育を徹底させる事は、國民全般の智能の向上を生み、……さうして國民全般の科學的頭腦が進んだならば、その中から優秀な研究も發明もどしどし生れて來るであらう。

科學教育を如何に徹底させるかに就いては考ふべき事が多々あらう。私は先づ科學教育の成果は氣永に待たなければならぬ事を望みたい。教育といふものは決して一朝一夕に出來上るものではなく、その成果の見られるのは遲遠い。更に本當の成果は、科學的教育を受けたものが教育をする様になつて……。大正の中頃科學教育の充實が叫ばれて……理化學設備が相當に整へられた事があつた。……折角の設備が持腐れになつた事もある由である。誠に遺憾な事と思ふ。

青年と新生活（上）
室伏高信

私自身はまだ青年だと思つてゐるし、少くとも……そこから遠くへと追放されてしまつてゐるやうである。

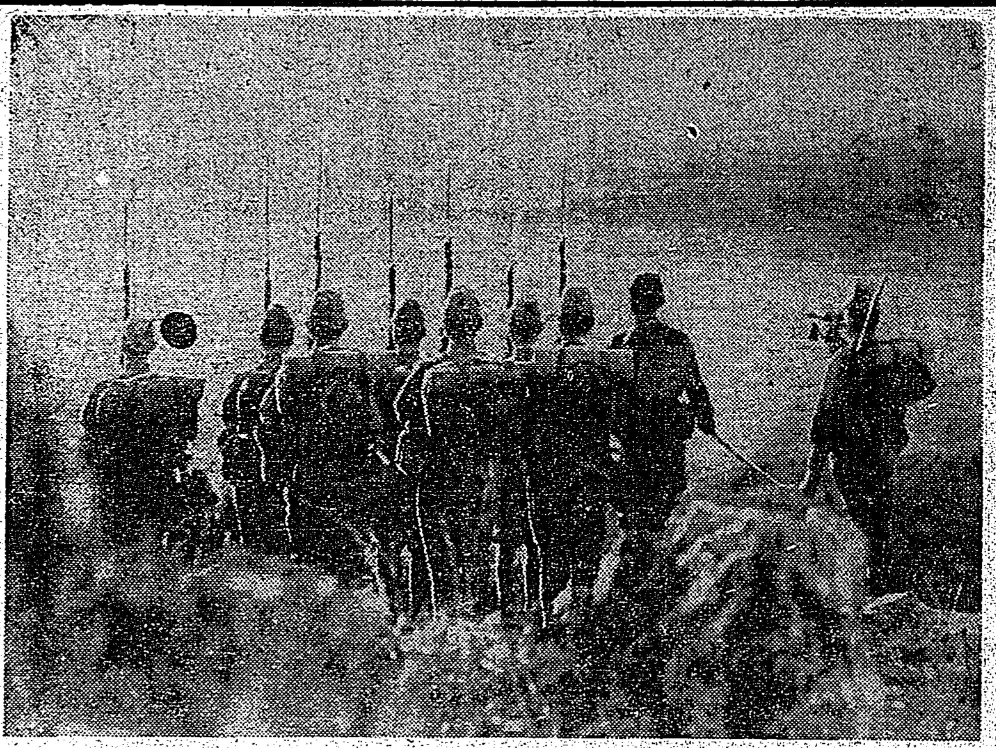
人生は室の中に飛びこんで來た燕のやうにどこから來てどこへゆくか知れないといはれる。……青年よ、青年よといつてゐるうちに、成熟し老成し、避けがたい人生の終りがやつて來るであらう。

われわれはこの人生を意識すべきであり、……しかしそのゆゑに悲しむこともなく、悩むこともない。否、悲しみ悩むことは間違つてはゐない。悲劇は喜劇より深いし、悩みのうちからのみ人生の眞の意義は生れて來るであらう。しかしまたその悲しみも、悩みも解決されなければならない。……どこに解決の途があるか。

私がここに新しい生活について語らうとするのは、この解決についての示唆を與へたいがためである。

人生の悩みを悩むのは青年である。……壮年期や老年期の人たちの悩みは多くは物質的なものであるか、地位や名聲かについてのものであり、……青年期の悩みは人生の眞についてであり、生命そのものに內在するところのものである。……それ自身生命のリズムである。青年は常に生命のリズムのうちに生き、……そのはかなさについても深い感銘をおぼえるのである。生命への憧憬が深ければ深いほど、それへの離別が深い哀愁によつて報いられるのである。

……この悩みを哲學や宗教によつて解決しようとする企てがくりかへされて來た。宗教は人間の深みをもり、哲學は人間の特徴である。キリスト教も佛教も大きい影響を與へてゐるし、またギリシヤ以來の哲學が人生を題目にしたといふことも爭へない。



大陸の元旦　宮城を遙拜する中支戰線〇〇部隊

三國志（382）
（出廬の卷）
吉川英治作　矢野橋村畫

油情燈心（二）

侍郎王子服は、董承の無二の親友であつた。……

そつと、室を窺つた王子服が、そのまま彼のうしろに立つて、何を肘の下に抱いてゐるのかと、凡の上をのぞいてみた。血で書いた白絹の……

「賊」といふ文字が眼にうつつた王子服が、はつとしたとたんに、董承は、誰やら背後に人のゐる氣配を感じて、何げなく振向いた。

「あつ、君か」

びつくりしたやうに彼はあわてて机上の一文を袂の下に蔽ひかくした。王は、それへ眼をとめながら、

「——何ですか、今のは?」と鋭く追求した。

「いや、べつに……」

「だいぶお疲れのやうに、お見うけされますが」

「うむ、ここ毎日、讀書に耽つてゐるのでな」

「何の書ですか」

「……」

「えつ?」

「おかくしなすつてもいけません、顏色に出てゐます」

「いや、疲勞ぢやよ」

「さうでせう、御心勞もむりはない。ちがへば、朝門は壞へ、九族滅され、天下の大亂ですからな」

「……。君は、……君はいつ何を斷れるのぢや」

「もし小生が、曹操のところへ訴人に出たら何うします」

「訴人に?」

「さうです、小生は今日まで、あなたとの交はりを誓つて來たとのみ思つてゐました——が、何ぞ知らん、あなたは水くさい祕し事を抱いておいでなる」

「……」

「……の親友と信じて來たのは、小生の……でした。訴人しに行きます——曹操のところへ」

「待給へ」

董承は、彼の袂をとらへ、眼にためて云つた。

「君がそれがしの祕事を覺つた以上、曹操へ訴へ出るなら、漢室亡するほかはない。君も累代國恩をかうむつた朝臣のひとりではないか……」

謹賀興亞新年　皇紀二千六百一年

赤堀鐵吉　高雄
宗藤大陸
吉岡好治
杉原清三郎　高雄
中村一造
高雄興業株式會社　取締役社長　本地才一郎
竹林組　大野米次郎　高雄市湊町二ノ一六
陳啓貞　高雄
高雄州廳食堂　團員一同
上運天先次郎　高雄
陳啓峰　東京市赤坂區青山南町六丁目百拾壹番地　臺灣高雄州鳳山郡大寮庄
王沃　高雄
高雄州米穀商同業組合
保證責任高雄州米穀信購販利組合
高雄合同運送株式會社　電話二〇一三・二二四六・三二〇四九番
高雄市前金五七一ノ四番地　高雄州自動車株式會社
高雄美容術營業組合
南日本化學工業株式會社　本社 高雄市堀江町一丁目六番地　臺北出張所 臺北市本町四丁目二十番地　東京出張所 東京市麴町區大手町二丁目八番地　工場 高雄 電話四〇二五番　臺南 電話一四八六番
大阪商船株式會社　高雄支店

高雄州會議員
高雄市在住者（イロハ順）
本地才一郎　陳光燦　何本拾傳　高井羽二郎　武田末治郎　平本雄一　由尾繁治　松田吉人（右）

アルコール輸送株式會社　高雄市湊町二丁目二十四番地　高雄營業所
臺灣特殊窯業株式會社　高雄市戲獅甲五〇八　電話三八一五番　出張所 臺北市大和町二ノ二一 電話七九一八番
高雄製氷株式會社　高雄市鹽埕町二丁目十七番地
高雄勞働需給組合
高雄旅館組合
高雄州清涼飲料水ラムネ統制組合　高雄市鹽埕町二ノ十二　組合長 川俣重孝
高雄州青果同業組合
烏樹林製鹽株式會社　高雄州岡山郡　電話岡山五番
高雄州自動車運輸株式會社　高雄市前金五八六番地
日本水產株式會社　高雄出張所　高雄市新濱町二丁目二十四番地
臺灣海運株式會社
專賣局高雄支局內　專賣團
高雄商工會議所
三井物產株式會社　高雄支店
株式會社臺灣鐵工所　臺灣高雄
高雄州醬油工業組合　高雄市榮町二丁目十六番地　電話四二二一番

高雄市會議員（イロハ順）
今井池潘陳陳李大王吉田中工楠眞船福天安蔡木宮庄檜森杉
井上　坪　井中　藤村　田　砂橋井野藤　下川司　垣　本
尻佐　財光啓膽炳佐天　由　崇　精進
一重増　苦　長泰　折卓　武四温彦　葉九一　秀　三
郎喜雄源亮清雲森樂賞平作秀平哉郎雄磨四市禮一郎郎雄剛郎

臺灣運輸株式會社　高雄市新濱町三丁目四番地
高雄魚市株式會社　臺灣高雄市新濱町二丁目一〇番地
材木商　株式會社永森記商行　社長 林溫如　專務 蘇錦墩
海陸運送業　勞力請負業　代理業　株式會社日東商船組　高雄市新濱町一丁目一番地
高雄醫會　井狩醫院　富田醫院　帖佐醫院　尾上醫院　大井內科　渡邊醫院　神田醫院　嘉數醫院　田中醫院　小出醫院　安田醫院　海老名醫院　島田醫院（イロハ順）
營業種目　肥料　化學工業藥品　各種無水アンモニア其他　溶劑各種　アークカーボン　包裝材料　大正興業株式會社高雄出張所 高雄市入船町三ノ三 電話二三八一　大正興業株式會社臺北出張所 臺北市表町 大阪商船ビル三階 電話七三八二
臺灣セメント株式會社　本店 臺北市北門町七番地　工場 高雄市田町三丁目五番地
淺野セメント株式會社臺灣支店　臺北市北門町七番地　出張所 高雄市田町三丁目五番地
港灣工業株式會社　臺灣出張所　臺灣高雄市山下町二丁目十二番地　電話二二四一番
日本アルミニウム株式會社
臺灣合同鳳梨株式會社　高雄市苓雅寮四一番地ノ八
高雄鐵工業組合　高雄市榮町二丁目十六番地
株式會社安部幸商店　臺北支店 臺北市本町四丁目二七　高雄支店 高雄市新濱町一ノ六四
保證責任東港漁業協同組合　東港魚市場
保證責任琉球漁業協同組合　役職員一同
保證責任佳林漁業協同組合役職員一同
東港郡林邊庄　林壁輝

東港郡守 德重種彥　同庶務課長 佐保一人　同勸業課長 齋藤守信　同警察課長 鈴木榮太郎　東港街長 橫山新作　林邊庄長 川畑清次　佳冬庄長 蕭恩鄉　新園庄長 手代木駒之助　萬丹庄長 生田目與七　琉球庄長 儀間正良
東港郡新園庄仙公廟　東京泰東書道院　日滿華三國書道教授　林又春
公醫　富士雅正
東港街公醫　許白土
東港郡萬丹庄　張山鐘
林邊庄公醫 醫學士　鄭吉慶　電話二七番
東港郡藥業組合
東港青果配給組合
高雄州商工組合聯合會　東港郡支會
東港街大潭新農事實行組合
東港街下廍農事實行組合
東港郡砂糖小賣商組合
東港郡美容術營業組合
東港水利組合
保證責任東港信用販賣購買利用組合　役職員及組合員一同
保證責任萬丹信用販賣購買利用組合
保證責任佳冬信用販賣購買利用組合
保證責任林邊信用購買販賣利用組合
保證責任溪州信用販賣購買利用組合
保證責任新園信用購買販賣利用組合
保證責任琉球信用販賣購買利用組合
東港郡菓業特產加工同業組合
岡山郡守 波多野勇
岡山郡警察課長 石丸卯六　岡山郡庶務課長 高橋用吉　岡山郡勸業課長 細田健太郎
岡山郡下 小公學校長一同
彌陀庄長 八島善之進　岡山街長 齋藤善次郎　楠梓庄長 齋藤勝次　燕巢庄長 齊藤三喜　田寮庄長 朱萬成　湖內庄長 角田豐太　路竹庄長 久木元暑　阿蓮庄長 佐分利末熊
岡山興產自動車株式會社
岡山 更新商店

旗山街長 川野觀太平　美濃庄長 二木恩貴　杉林庄長 熊谷茂作　六龜庄長 柴田三郎　內門庄長 德丸增美　甲仙庄長 佐田雪馬
臺灣產業協會 高雄州支會 旗山郡分會
鳳山郡守 大塚國一郎
保證責任鳳山信用購買販賣利用組合　鳳山街
高旗自動車株式會社　鳳山街
仁壽醫院　鳳山街
有限責任屏東信用組合　屏東市本町二丁目十九番地　電話五五番
屏東信託株式會社　屏東市黑金町一丁目五四番地
升島戶野一
臺灣酒類賣捌人組合屏東支部
臺灣煙草賣捌人組合屏東支部
保證責任屏東興農信用購買販賣利用組合
屏東驛運送業組合員一同
屏東貸切自動車株式會社
昭和自動車合資會社
屏東自動車合資會社
北港郡守 林彌輔
北港街長 佐々木高景
北港朝天宮宮務所
蔡裕斛　合名會社北港劇場
口湖庄役場職員一同
北港郡獸肉營業組合
北港郡料理屋營業組合
保證責任北港信用組合
保證責任四湖庄信用販賣購買利用組合
水林庄信用販賣購買利用組合
公醫 早坂直治
自動車用品 愛國モーター商會
金集發運送店
大有商店
北港製氷公司
北港 顏木杞
北港 蘇玉崑